



第19回アルパフェスティバル(2009年)より

◎特別ゲスト  
エドゥアルド・ベタンクール



ルシア塩満

# 第20回 アルパフェスティバル

## 春の アルペジオ *Arpegios En La Primavera*

2010.5.29(土)  
北とぴあ・さくらホール

開演 3:00pm (開場 2:30pm) 終演予定 6:30pm

◎料金:3,500円(全席指定・税込)/当日:4,000円  
【クラブ・バナビ会員特典】

会員がお求めになるチケットは全て1割引(3,150円)になります。  
ただし前もってご予約・お申し込みされたものに限り割引になります。

◎出演:ルシア塩満アルパ教室生徒  
ラス・カンパーナス  
グルーポ・アサレア(豊橋=佐々アルパ教室生徒)  
長野アルパ教室生徒

◎特別ゲスト:エドゥアルド・ベタンクール(アルパ)/ルイス・ピノ(ケアトロ)

◎共演:ルシア塩満/高山直敏/高橋マサヒロ/寺澤むつみ/大石智紀  
デュエット・エスペランサ(日下部由美/ガブリエル・ゴンサレス)  
ソル・デ・ミシオネス(岩崎わかなる/ホセ・ルイス・バルボーサ)  
エバ!(長野太郎/塚田美紀)

◎司会:河崎早春 ※メンバーに変更がある場合がありますので予めご了承ください。

### チケットのご予約・お申込み

オフィス・アルペジオ  
Tel & Fax: 03(3902) 5355  
e-mail: arpegio@minos.ocn.ne.jp

\*各出演者もチケットをお取り扱いしています。

- ◆主催:ルシア塩満アルパ教室
- ◆後援:パラグアイ共和国大使館/ペネエラ・ボリバル共和国大使館/日本アルパ協会
- ◆企画構成:ルシア塩満
- ◆協力:ラティーナ・アルパ教室生徒/クラブ・バナビ



ルシア塩満

1975年にプロ・デビューし、その後アルバと巴拉グアイ音楽の普及に力を注ぎ、後進を育てるためにアルバ教室を開設して自ら指導にあたる。「春のアルベジオ」やコンサート活動、CD制作などの実績が評価されて、巴拉グアイ政府から1995年に「文化功労賞」、2004年に「国家功労勲章・コメンダドール位」を授与される。2007年に第19回ミュージック・ベンクラブ音楽賞を受賞、同年巴拉グアイで開催された第1回世界アルバ・フェスティバルにアジア代表として招待され出演。2008年には巴拉グアイ日本文化センターの20周年式典で招待記念演奏をする。2009年に行なった初のベネズエラ公演では巴拉グアイ・アルバの音色で会場を包み好評を博す。コンサートには今年のゲストのエドワルド・ベタンクールがゲストとして登場。



エドワルド・ベタンクール

カラカス生まれ。類まれな音楽性を持ち合わせるベネズエラ・アルバ界を代表する若手技巧派奏者のひとり。南米はもちろん、ロンドンやワシントンなどへも演奏旅行をし、多くのトップ・ミュージシャンとの共演を重ねる。2006年にはベネズエラ人歌手で世界的に活躍するヒルベルト・サンタ・ロサとラファエル“ボジョ”ブリートとコンサート・ツアーをする。2007年11月に巴拉グアイの首都アスンシオンで開催された第1回世界アルバ・フェスティバルにベネズエラ代表として出演し好評を得る。2009年にはルシア塩満の初のベネズエラ公演にゲストとして共演する。最近ではワシントンでマリアーノ・ゴンサレス(巴拉グアイ)、エドマル・カスタネーダ(コロンビア)とジョイント・コンサートを成功させる。

ルイス・ピノ



カラカス生まれ。幼少時より家庭の伝統でクラトロを演奏し始める。14歳にしてエル・クラルテのクラトロ奏者ラウル・デルガードにその才能を見いだされ、のちに現代最高のソロ奏者チェオ・ウルタードに師事。1998年、アリオ・ディアス国際ギター・フェスティバルでプロ・デビュー。以来、ソロ活動の傍ら多くのミュージシャンの伴奏を務め、チェオ・ウルタードの代役としてアンサンブル・グルフィオの公演に参加することも多数。

デュエット・エスペランサ

◎日下部由美  
◎ガブリエル・ゴンサレス



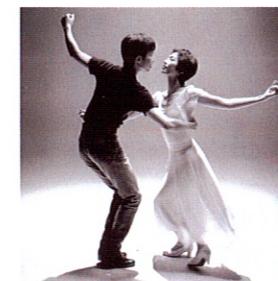
ソル・デ・ミシオネス

◎ホセ・ルイス・バルボーサ  
◎岩崎わかな



エバ!

◎長野太郎  
◎塚田美紀



1995年にコンビを結成。巴拉グアイ人のアルバ奏者ガブリエル・ゴンサレスと日下部由美によるアルバとギターのデュエット。コンサート活動、学校公演、レストラン、ホテルなど幅広い活動をしている。アルバ教室を主催するなど楽器の普及にも力を注ぐ。

●ガブリエル・ゴンサレス:巴拉グアイ人らしい力強いダイナミックな演奏で日本人を魅了する。巴拉グアイ音楽に深い愛情と誇りを持ち、演奏活動の傍ら日本人へのアルバの指導に尽力する。

●日下部由美:1993年から96年まで巴拉グアイに滞在、多くのアルバ奏者に師事しアルバを学ぶ。近年はベネズエラ、コロンビアの平原地方で演奏されるアルバ・ジャニーラも習得し、しなやかで繊細な演奏に定評がある。

アルバを弾きながら歌うという巴拉グアイ・スタイルの演奏と心温まるトークが好評のデュエット。仙台を中心に各地で演奏。レパートリーは巴拉グアイ音楽からラテンのスタンダード、ボビュラー音楽まで幅広い。

●ホセ・ルイス・バルボーサ:巴拉グアイのミシオネス生まれ。巴拉グアイ・アルバらしい力強い奏法とパワー溢れる情熱的な歌声で魅了する。巴拉グアイのサッカーチームが来日した際に国歌斉唱歌手の役を任せられることでも有名。

●岩崎わかな:宮城県の大学の音楽科を卒業後、中学校教員を経て青年海外協力隊で巴拉グアイへ派遣されアルバと出会う。アルバをホセ・ルイスに師事し1999年5月にコンビを結成。

長野太郎と塚田美紀によるアルゼンチンのフルクローレを主としたダンス・ユニット。長野は学生時代に中南米を旅行中に各地の音楽・踊りにふれ、ブエノスアイレスでバレエ・サルタのヒメネス夫妻に師事。帰国後、アルゼンチン民俗舞踊グループで知り合った塚田と二人でコンビを組んで1999年から「エバ!」として活動開始。これまでにアルゼンチン・タンゴや中南米民俗音楽のイベントに多数出演。伝統舞踊と創作を両輪としてラテンアメリカのダンスに取り組んでいる。

高山直敏



1994年からルシア塩満の演奏活動に参加するようになり、巴拉グアイやアルゼンチンへもギター奏者として同行している。CDを1枚自主制作。

高橋マサヒロ



本場ボリビアへ留学しフルクローレと演奏の本質を習得する。近頃はルシア塩満のグループにケーナ、サンボニーヤのスペシャリストとして参加。

寺澤むつみ



フルクローレのみならずラテンやタンゴにも精通し、豊富な知識と演奏テクニックが高く評価される。多くの弦楽器を操る“弦楽器の名手”として活躍。

大石智紀



ジャンルは問わず多くのミュージシャンとのセッションを楽しむマルチ・パーカッショニスト奏者。活動はコンサート、ライブから芝居にまで多方面にわたる。

※チケットのお申し込みには同封の払込用紙をご利用ください。

公演日付・申し込み枚数とお名前・ご住所・電話番号をご記入の上、チケットの合計金額をお払いください。なお、払込手数料についてはご負担願います。

会場案内



※できるだけお車でのご来館はご遠慮ください。

※JR京浜東北線王子駅北口より徒歩2分

東京メトロ王子駅5番出口直結